

教 科	数学	科 目	数学Ⅱ	学 年	2	類 型	中進文系
単位数	4	教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	4プロセス 数学Ⅱ＋B〔ベクトル・数列〕（数研出版） リンク数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B受験編（数研出版）						

学習目標	数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。また、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	数学演習①	「A問題」で基本事項を身に付け、「B問題」で知識の定着を図る。 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数 第5章 指数関数・対数関数 第6章 微分法と積分法	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2 学 期	数学演習②	リンク数学演習の「approach」で基本事項の復習・定着を行い、「basic」「challenge」で知識の運用力を身に付ける。 9 式と証明 10 複素数と方程式 11 図形と方程式 12 三角関数	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
3 学 期	数学演習③	13 指数関数と対数関数 14 微分法と積分法 終了後は、数学Bの内容を行う。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

学習方法	予習を前提とした授業を行う。 手が見つからない、どのようなことを知っておかなくてはならないのか分からないということであれば、教科書に目を通し、必要な知識を確認することから始めること。 履修内容の定着のため、解けなかった問題は時間をかけ、繰り返し解答すること。
------	--

評価方法	考査評価 8 割、平常評価 2 割で総合的に評価し、最終的に 100 点法の評点、および 5 段階で評価する。平常評価は課題提出、小テスト、授業への取り組み等で行う。
------	--